



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「**2013年秋の大会**」開催のお知らせです。当学会では、東京電力福島第一原子力発電所事故について、その収束と今後の教訓に資するため、学術的、技術的見地から検討を行っていますが、本大会においても、各部会等における検討状況などを一般公開セッションにて行うことといたしましたのでご案内いたします。

**日本原子力学会「2013年秋の大会」開催  
主な一般公開セッション（入場無料）のご案内  
9月3日～5日 八戸工業大学**

期日：2013年9月3日(火)～5日(木)

場所：八戸工業大学(青森県八戸市妙字大開 88-1)

(<http://www.hi-tech.ac.jp/0801outline/0807outline>)

主催：一般社団法人日本原子力学会 (<http://www.aesj.or.jp/>)

**福島第一原子力発電所事故関連の一般公開セッションは、すべて A 会場(本館2F207)で行います。**

9月3日(火)

10:30～12:00 「原子力の将来ビジョンと今後の日本原子力学会の役割」(理事会)

- ・会長挨拶 (日本原子力学会長 堀池 寛)
- ・3.11 以後の原子力政策の在り方 (原子力委員会委員長 近藤俊介)

13:00～15:00 特別講演「東北の復興に向けて」

- ・県知事挨拶 (青森県知事 三村申吾)
- ・八戸工業大学の東北復興への取り組み (八戸工業大学学長 藤田成隆)
- ・“ちきゅう”が探る八戸沖の海底資源 (JAMSTEC 東 恒)
- ・活断層とは何かー原子力における活断層の取り扱いー (首都大学東京 山崎晴雄)
- ・原子力プラントの耐震性について (原子力安全推進協会 落合兼寛)

15:10～16:40 「外的事象に対する深層防護と安全確保の事例検討」

- ・国際動向と新基準における対応 (原子力規制委員会 更田豊志)
- ・発電炉における事例検討 (日立 GE 守屋公三明)
- ・福島事故を踏まえた六ヶ所再処理施設の安全性向上の考え方 (日本原燃 青柳春樹)
- ・総合討論

9月4日(水)

10:20～11:50 総合講演・報告 4「市民および専門家の意識調査・分析」

(特別専門委員会〔社会・環境部会共催〕)

『「原子カムラ」の境界を超えるためのコミュニケーション』

- ・福島第一原子力発電所事故と「原子カムラ」 (東京大学 竹中一真)
- ・社会調査に見る「原子カムラ」の捉えられ方 (関西大学 土田昭司)
- ・「原子カムラ」に境界を超えるためにー「フォーラム」の取り組み

(パブリック・アウトリーチ 木村 浩)

本件に関する取材等お問合せ先  
日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail : [meeting@aesj.or.jp](mailto:meeting@aesj.or.jp)

裏面へつづく



13:00～14:30 「原子力発電の安全性向上への取組み(その2)」(原子力発電部会)

- ・福島第一原子力発電所 1～4 号機の廃炉措置等に向けた取組み(東京電力 高儀省吾)
- ・浜岡原子力発電所における更なる安全性向上のための取組み(中部電力 三葛武文ほか)
- ・原子力発電所の更なる安全性向上のための技術開発について(日立 GE 今野隆博)

14:40～16:40 「福島第一原子力発電所事故調査委員会の最終報告書(ドラフト)の説明」(学会事故調)

### その他の一般公開セッション

#### 9月3日(火)

- 13:00～14:30 (G 会場) 「リスク情報を原子力プラントの安全向上に役立てるのになすべきこと」(標準委員会)
- 13:00～14:30 (M 会場) 「再処理施設の重大事故評価と対策」(再処理・リサイクル部会)
- 13:00～14:30 (O 会場) 総合講演・報告 3「放射性廃棄物地層処分の学際的評価」(研究専門委員会)
- 13:00～14:30 (P 会場) 「パネルディスカッション『私たちのワークライフバランスー“リケジヨ”に聞くこれからの働き方ー』」(男女共同参画委員会)

#### 9月4日(水)

- 12:30～14:30 (G 会場) 「GIF 第 4 世代炉国際フォーラムの現状と今後について」(新型炉部会)
- 13:00～14:30 (C 会場) 「炉物理・遮蔽分野における安全解析コード開発戦略」(放射線工学部会)
- 13:00～14:30 (E 会場) 「核セキュリティに関する検討状況と今後について」  
(核不拡散・保障措置・核セキュリティ連絡会)
- 13:00～14:30 (H 会場) 「原子力安全確保のための深層防護の考え方」(標準委員会)
- 13:00～14:30 (M 会場) 総合講演・報告 5「高温ガス炉の課題と解決法」

#### 9月5日(金)

- 13:00～14:30 (B 会場) 「工学系大学における原子力基礎教育と原子力シニアとの対話」(SNW)
- 13:00～14:30 (C 会場) 「原子力安全のための人材育成と世界の視点」(標準委員会)
- 13:00～14:30 (D 会場) 「インド原子力学会と日本原子力学会の協定締結による国際協力」(海外情報連絡会)
- 13:00～14:30 (H 会場) 「効果的・効率的なアクシデントマネジメントによる総合安全性の向上」(標準委員会)
- 13:00～14:30 (N 会場) 総合講演・報告 7「どこまでできる？分離変換技術」(研究専門委員会)

※ その他のセッションについては、当学会「2013 年秋の大会」HP をご覧ください。

[http://www.aesj.or.jp/meeting/2013f/j/J13Fall\\_TOP.html](http://www.aesj.or.jp/meeting/2013f/j/J13Fall_TOP.html)

### 大会を取材される報道機関の皆様へ

本大会の取材をご希望の際は、以下の手順でお手続きをお願いいたします。

1. 大会総受付(21 号館 2 階 西側ロビー)へお越しいただき、受付担当者へ名刺をお渡しください。
2. 「取材申込用紙」に氏名・社名、取材を希望されるすべてのセッション名 (または会場名)をご記入ください。
3. 「報道関係者」の名札をお渡します。名札を必ず付けて、取材希望セッション会場へお入りください。
4. 会場へ入られましたら、取材を開始する前に、当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。また、同会場で複数のセッションを取材する場合は、その都度当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。  
個別の講演・発表として取材される際は、必ず各講師・登壇者および座長へ取材の許可を得てください。  
会場内では、参加者のプライバシーへのご配慮をお願いいたします。
5. 取材が終了されましたら、総受付へ名札を返却してください。

ご協力をよろしくお願いいたします。

### ●記者会見のご案内

9月4日(水)16:40よりA会場において学会事故調最終報告書(ドラフト)に関する事故調委員長会見を行います

本件に関する取材等お問合せ先  
日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail : meeting@aesj.or.jp